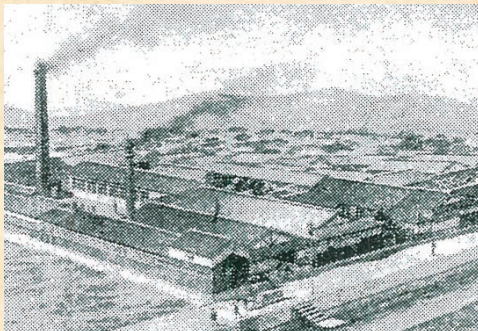


株式会社ヤマノ

食の未来を見つめ、お客様の繁栄と豊かな食文化の創造に貢献する

製菓・製パンや様々な加工食品製造業・小売業等のニーズや課題に対応出来るように、多様な加工食品メーカーや機械器具・包装資材メーカー等の多くの商品を品揃えし、情報機能や温度帯別の物流機能を強化しながら、全国屈指の専門商社&グループを目指しています。

商号	株式会社ヤマノ
本社	〒670-0055 姫路市神子岡前1-4-33
創業年	江戸時代中期
設立年	1923年9月
資本金	7,000万円
従業員数	79名/連結135名(令和3年10月末時点)
事業内容	製菓・製パン・加工食品原材料、調味料や加工食品、包装資材・機械器具等の卸売事業、ネット販売事業



大正時代の(株)山野製菓所

信用を大切に、食品業界で様々な事業展開

(株)ヤマノの原点は姫路藩御用商人の俵屋で、御用書留帳には姫路木綿江戸売捌の江戸積仲間として、弘化4年至嘉永4年(1847~1851)の御国産長東木綿会所 取締 俵屋長兵衛とあり、安政3年(1856)には御国産方 山野長兵衛に苗字が変わっています。そして明治以後は、大商社・鈴木商店との関係から砂糖や小麦粉等の販売を行い、明治43年には氷砂糖製造の(株)三星商会と山野製菓工場を設立、大正2年の姫路市名所案内には、砂糖麦粉卸問屋 山野本店、砂糖掛物菓子問屋 山野支店、菓子製造場 山野工場と広告があります。そして大正12年に(名)山野商店を設立、大正13年に(株)三星商会を(株)山野製菓所に変更して金平糖や飴を製造、大正15年に(名)伊勢屋本店(創業は元禄15年)を設立と様々な事業をしていました。

危機を乗り越え、新たな領域に挑戦

昭和になって戦時体制下を経て戦争となり、姫路市街地も残念ながら爆撃をされ、当社の社屋・工場は全焼して終戦を迎えました。そして戦後、昭和天皇が関西御行幸で姫路に立ち寄られた際、兵庫県から「玉椿」をつくれとの要請があり、それを機会に伊勢屋本店が再開することが出来ました。(名)山野商店は少し遅れて再開、昭和37年には(株)神戸砂糖を設立。そして昭和42年に現在の神子岡前に倉庫や社屋を新築移転し、昭和54年に大阪支店を開設、昭和63年に(株)ヤマノを設立して、(名)山野商店から営業権を譲渡し、平成5年に(株)神戸砂糖と合併しました。このように大変な苦勞をして戦後の復興を果たし、神戸や大阪に販売を拡大してきました。



昭和42年に新築移転した(名)山野商店

時代の変化に対応し、事業を拡大

(株)ヤマノは平成19年、東京進出と大阪支店の新築を行い、平成23年に本社・姫路支店の新築、平成27年に東京支店の新築をしました。さらに平成28年に(株)京都麻袋、令和3年に(株)コウリョーを子会社としました。そして関連会社の(株)伊勢屋本店も含めず社員数は135名程度になります。(株)ヤマノは東京・京都・大阪・姫路・岡山に支店等があり、(株)伊勢屋本店は龍野町に本社工場があり、直営店が西二階町本店・ピオレ姫路店・広畑店・グランフェスタ店、販売先は山陽百貨店・阪急阪神百貨店・三越伊勢丹などで40か所程度あり、ネット販売も行っています。今後はグループの総力を結集して、時代の変化や技術革新に対応しながら、事業の拡大を目指していきたいと考えております。



平成6年に新築の(株)伊勢屋本店・西二階町本店

江戸時代
中期創業

平成23年に新築した
本社・姫路支店

